見沼たんぼ一周サイクリング

令和３年２月５日（金）晴 CANNONDALE CARBON ULTEGRA　岩田

芝川・上新宿橋よりさいたま新都心方面

見沼代用水東縁より見沼たんぼ（加田屋新田）

氷川女体神社前の見沼代用水西縁

氷川女体神社

國昌寺（こくしょうじ）の「開かずの門」と白梅

「開かずの門」の欄間の龍（左甚五郎の作と伝えられる）

落葉した冬のメタセコイア並木

見沼通船堀（復元された閘門）

記録：　11:23 七里総合公園→11:43～50 芝川/上新宿橋 6.88 ㎞→12:05～30 氷川女体神社 10.41 ㎞→13:00～13 通船堀 15.81 ㎞→13:32～42 國昌寺 21.07 ㎞→13:55～14:05 埼玉スタジアム 2020　23.59 ㎞→14:15 鷲神社 25.57 ㎞→深井家長屋門→見沼自然公園→14:38 七里総合公園 30.14 ㎞

合計 3 時間 15 分　実走 1 時間 40 分 56 秒　30.14 ㎞　平均速度 15.9 ㎞/h　最高速度 31.3 ㎞/h　（サイクルメーターよりのデータ、各距離は累積距離）

感想：　巣ごもり生活が続く中、気分転換に 3 密を避け、見沼たんぼ一周サイクリングに出かけた。七里総合公園を出発し、左手に見沼たんぼ加田屋新田を眺めながら南下し、次第に右カーブし西へ方向を変える。遠くに冠雪した富士山を眺め、やがて芝川の上新宿橋に着いた。ここからはさいたま新都心方面の見晴らしが良い。

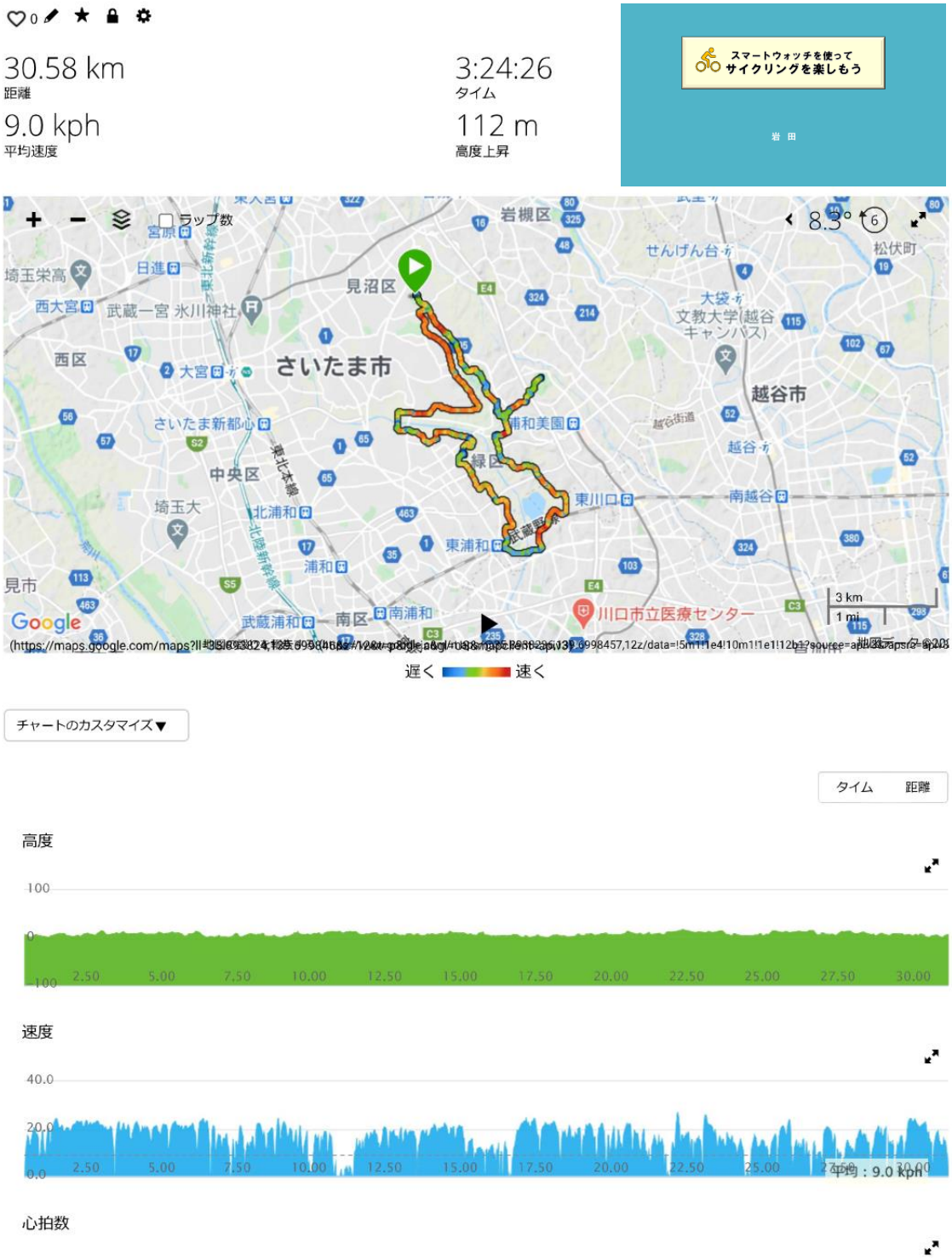
芝川を越えるとすぐに見沼代用水西縁に出る。見沼代用水の左岸を下流へ走るが所々未舗装部分があり、清水橋で右岸へ次の馬場橋でまた左岸へ渡り並走する車道を行き、北浦橋で再度右岸へ。うっそうとした森に囲まれた氷川女体神社へ到着した。見沼たんぼを見下ろす高台にある古社だ。隣接する見沼氷川公園は休憩に適地で、しばし陽だまりのぬくもりを感じた。

さらに下流へ左岸を走り、見沼代用水は蛇行を繰り返し、武蔵野線をくぐると見沼通船堀の西端、見沼通船堀公園に着く。見沼通船堀は見沼代用水東縁、西縁と芝川をつないだ運河で、その閘門が復元されている。通船堀の東縁近くに休憩所や喫茶花あかりがあり、ひと休みによい。

見沼通船堀からは見沼代用水東縁沿いを上流へ北上した。越谷浦和バイパスの新見沼大橋をくぐると間もなく國昌寺（こくしょうじ）に到着。ここには「開かずの門」がある。さいたま市発行の【見沼たんぼ見どころガイド】によると、『江戸時代中期の建築の山門は棺を担いでこの門をくぐりぬけると、龍に中身を食われて軽くなるという「開かずの門」として有名。欄間の龍は左甚五郎作と伝えられ、見沼に棲んでいた龍が作物を荒らしたので、日光から帰る途中の左甚五郎に龍を彫ってもらい、釘づけにして門におさめたという伝説がある。』

國昌寺から寄り道をして、埼玉スタジアム 2020 に寄った。サッカーの試合がない日はひっそり

としている。再び戻り、雑木林の中の鷲神社に行く。静かな良いところで小さいが社叢はふるさとの森に指定されている。次に、弘化元年（1844 年）建築の深井家長屋門を見学後、見沼代用水路を作った井沢弥惣兵衛為永（いざわやそべえためなが）の銅像の建つ見沼自然公園を通り、加田屋新田の東側、見沼代用水東縁を走り、スタート地点の七里総合公園へ戻った。この一周ルートは意外と短時間に名所旧跡を巡ることができ、充実したルートだった。



統計　ラップ数　各ゾーンの時間

距離

30.58 km
距離

カロリー

824 C
カロリー

心拍数

bpm　最大（%）　ゾーン

117 bpm
平均心拍数

148 bpm
最大心拍数

タイミング

ペース　速度

3:24:26
タイム

2:11:50
移動時間

3:24:26
経過時間

9.0 kph
平均速度

13.9 kph
平均移動速度

27.2 kph
最高速度

高度

112 m
高度上昇

113 m
高度下降

1 m
最低高度

19 m
最高高度

【さいたま市ガイドより】
見沼たんぼとは…見沼たんぼは首都圏に残された約 1,260 ヘクタールの広大な緑地空間です。田んぼや畑、雑木林、芝川や見沼代用水が形づくる田園風景と生き物を育む豊かな自然が今も残っています。

見沼たんぼはその名の通り沼でしたが、江戸時代の初めには、芝川を堤で堰き止め、灌漑用の溜池として利用されました。

そして享保 13 年(1728 年)には、8 代将軍吉宗に命じられた井沢弥惣兵衛為永により、新田開発の為に干拓されるとともに利根川から見沼代用水西縁・東縁がひかれ、現在の見沼たんぼがつくられました。